



© SAIBUGAS

# 寒い日には、ガス給湯器の凍結にご注意ください！

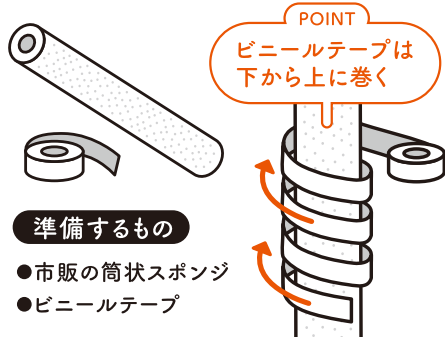
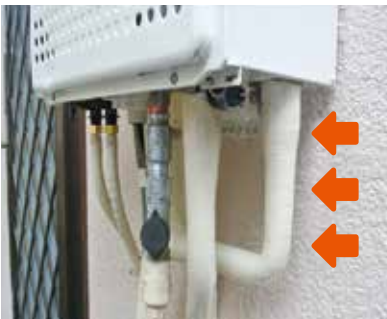
## 給湯機器



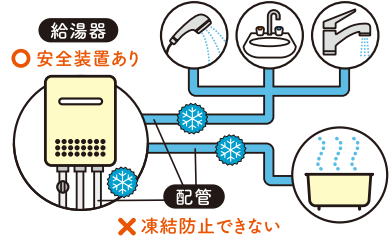
冬、見落としがちなのが屋外に設置されている給湯機器の配管！凍結すると、お湯が出なくなることやガス機器本体が壊れることも。寒くなる前に、チェックしておこう！！

### 1. 給湯配管の保護

配管に保温材や断熱材を巻いて予防する。



給湯器の安全装置は本体のみ、配管までは凍結防止できません。



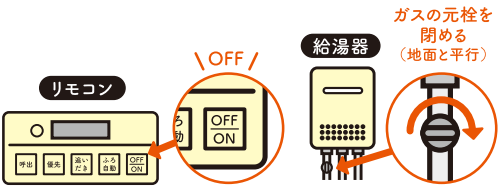
※安全装置が働かなくなりますので、100V電源コンセントは抜かないでください。

### 2. 通水による凍結防止

少量の水を流し続けることで予防する。

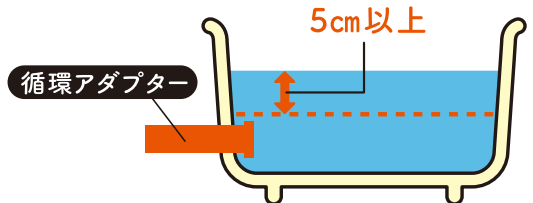


- ①リモコンを「切」または「OFF」に。  
※リモコンがない場合は、給湯器のガス元栓を閉めてください。
- ②給湯機器につながる給湯栓のうち、いずれか一か所のお湯側の蛇口を開き、少し水を流してください。  
※流れる水の太さが4mm程度(1分間に400cc程度)



### 3. ふろ追い焚きの凍結防止 ※追い焚き機能付きのみ

浴槽に水をためておく。



浴槽の水を循環アダプター上部より、5cm以上ある状態にしてください。  
※ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて凍結を予防します。



配管が凍結した場合 日中の気温が上がり自然に解凍するまでお待ちください。